2026年11月11日

各　位

会社名　株式会社みのや
代表者名　代表取締役社長　正木　宏和
（コード番号：386A　東証スタンダード）
問合せ先　取締役　佐々木　康宏
（TEL 048-816-4550）

2027年６月期第１四半期決算において高い関心が予想される事項

日頃より、当社に関心をお寄せいただきありがとうございます。2026年11月11日に発表しました、2027年６月期第１四半期決算内容において高い関心が予想される事項について、下記のとおり開示いたします。

Ｑ１：2027年６月期第１四半期決算の評価について教えてください。

Ａ１：当第１四半期は、売上高は前年同期比にて増収し、営業利益については赤字幅が縮小しました。業績は計画を若干上回る水準で推移しており、順調なスタートとなりました。

売上高については、店舗数の増加に加え、既存店の売上高も堅調に推移しました。第１四半期は例年、夏季特有の要因である猛暑などの影響により、売上高が軟調となる傾向がありますが、当期は比較的涼しい夏となりました。また、９月の長雨や台風の影響もあるなか、SC店（ショッピングセンター店）への集客につながりました。

利益面では、前年同期に発生した上場関連コストの解消に加え、増収による収益改善効果が寄与しております。売上総利益については、売上高の増加に伴う仕入コストの増加が主な要因となり、計画をわずかに下回りましたが、販管費については計画の範囲内で推移しております。

引き続き、売上伸長と収益力向上を目指し、通期業績予想の達成に向けて取り組んでまいります。

Ｑ２：月次情報において、既存店・全店の売上が前年同月比で増加しておりますが、その要因について教えてください。

Ａ２：第１四半期にあたる７月から９月までの３か月間、既存店・全店ともに売上高が前年同月を上回り、客数・客単価ともに上回る結果となりました。店舗運営において、毎月数アイテムの月間販売強化商品を継続的に販売するなどの施策を強化してまいりました。こうした取組みも売上高の増加に寄与したものと考えております。

Q３：物価高による消費者の購買動向やコストへの影響について教えてください。

Ａ３：現時点では、物価高による消費者の購買動向への影響は限定的であり、売上高も順調に伸びております。仕入面では、一部商品に価格上昇が見られるものの、全体としてはコントロール可能な範囲と捉えております。また、人件費やその他諸経費についても、計画の範囲内で推移しております。

引き続き、消費者の購買動向や仕入価格の変化を注視するとともに、販売施策の強化などを行ってまいります。

Q４：株主還元について教えてください。

Ａ４：2027 年６月期の年間配当金（期末）は、１株当たり前期比 5.34 円増配の 30 円を計画しております。

当社は、企業体質の強化や将来の成長に向けた投資資金の確保を考慮しながら、株主の皆様への安定的な利益還元を継続して実施することを基本方針としております。

また、株主優待も導入しております。2026 年６月 30 日基準日の株主様の中から、当社株式 200 株（２単元）以上を１年以上継続保有されている株主様を対象に、おかしのまちおか商品券 2,000 円分または全国共通おこめギフト券 2,000 円相当を贈呈いたします。詳細については、当社 IR サイトをご覧ください。

以上



当社 HP の IR サイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。
ぜひご覧ください。
https://www.machioka.co.jp/ir/